



「ありがとう」は、一般に感謝やお礼の心を表す日常語として常識になっています。

「有り難い」は文字通り、有るのが困難、めったにない、珍しいという意味です。だからこそ、貴重である、かたじけない、もったいない、おそれ多いという感謝の気持ちを表す言葉になりました。

私たちの人生において「ありがとう」と言っただけではない場面はひとつもありません。人から何かをいただいたとき以外にも、お金を払い、それと引き換えに品物を受け取る時、別れ際「さよなら」の代わりに、あるいは大切な人がお浄土に旅立つとき・・・。「ありがとう」を言われて腹を立てる人はいません。

私たちの人生の中で、色々な人との出会いや出来事は、すべてが「有り難い」のであります。

人生のいろいろな場で「ありがとう」を言い、できるだけ優しくあたたかい言葉をかけたいものであります。